

■ 協働実践研究フレフォーラム（全5回）参加者募集！ ■

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターでは、本学の特任研究員を中心に研究班を構成し、協働実践研究活動を進めています。**12月1日（土）－2日（日）の全国フォーラム**に向けて、下記のとおり各テーマにそった「**協働実践研究フレフォーラム**」を開催します。みなさま奮ってご参加ください！
お申込はメールで、氏名・所属を明記のうえ、参加を希望されるフォーラム別にそれぞれのアドレスへ！

テーマ&登壇者	開催日&場所&申込
「楽・ふれあい・トーク」 ～目の前の外国につながる子どもたちに、わたしたちができることを～ 本フォーラムでは、ワークショップ形式で、参加者それぞれが率直に意見を交換しながら、外国につながる子どもたちの教育をどのように支援していくのか、そのためにどのような連携、協働が必要なのかを具体的に考えていきます。 川崎市川崎区をフィールドに、外国につながる子どもたちの教育に関わる、地域の団体、学校関係者、行政、当事者らを中心に議論を進めます。 【共催:川崎市ふれあい館、川崎市帰国・外国人児童生徒受入促進連絡協議会】	10月12日（金） 14:00-16:00 【会場】神奈川県川崎市ふれあい館 【定員】50名 【申込】 10/5（金）までに k-forum@tufs.ac.jp
多言語・多文化社会の広がりコーディネーター －福祉、学校教育、日本語支援、国際交流協力の現場から－ 第1部:事例報告「日本におけるコーディネーターの実際」 報告者: 疋田恵子(日本ボランティアコーディネーター協会運営委員) 宮村育代(杉並区教育委員会指定学校教育コーディネーター) 宮崎妙子(武蔵野市国際交流協会日本語学習支援コーディネーター) 丹下厚史(名古屋国際センター交流協力課主査) 進行: 山西優二(早稲田大学文学学術院教授、本学特任研究員) 第2部:ディスカッション「多文化社会に求められる人材像とコーディネーターの専門性」 パネリスト: 上記報告者4名 発題者: 杉澤経子(本センタープログラムコーディネーター) 小山紳一郎(かながわ国際交流財団情報サービス課長、本学特任研究員) 進行: 山西優二(早稲田大学文学学術院教授、本学特任研究員) 【後援:(財)自治体国際化協会、(特活)日本ボランティアコーディネーター協会】	10月26日(金) 14:30-17:30 【会場】早稲田大学国際会議場 【定員】100名 【申込】 10/20 までに c-forum@tufs.ac.jp
外国人住民を取り巻く課題と地域づくり －長野県上田市における行政・企業・市民連携の取り組み事例を中心に－ 第1部 日系ブラジル人の仕事・暮らし・教育(鼎談) 上田市に暮らす日系ブラジル人 浦野エジソン(一橋大学大学院社会学研究科フェアレバー研究教育センターシニア・リサーチフェロー、本センターフェロー) 田村太郎(多文化共生センター大阪代表理事、本センターフェロー) 第2部 日系ブラジル人を取り巻く課題と取り組み(パネルトーク) 外国籍市民支援会議の取り組み(上田市市民生活部市民課長 小山 晃) プレスクール(教育委員会学校教育課長 小野塚 究) 日系ブラジル人の子どもたち(上田市東小学校長 増田善雄) 日系ブラジル人が働く地元製造業の実情(地元企業) 地域の日本語教室の取り組み(親と子の日本語教室代表) ・ コメンテーター 阿部裕(精神科医、本学特任研究員) 佐藤郡衛(東京学芸大学国際教育センター教授、本学特任研究員) ・ 進行 井上洋(日本経団連産業第一本部長、本学特任研究員) 【共催:長野県上田市、後援:(財)自治体国際化協会】	11月2日(金) 13:30-16:30 【会場】文京シビックホール26階スカイホール 【定員】100名 【申込】 10/25 までに u-forum@tufs.ac.jp

地方自治体の外国人施策における市民協働の可能性を探る ー町田・相模原における広域連携の模索ー

基調報告: 渡戸一郎(明星大学教授/本学特任研究員)

第1部:「町田・相模原における外国人相談の現状と課題ー先行事例との比較」

パネリスト:

奴田原敏泰 (町田国際交流センター 外国人相談部会長)

柿澤澄夫(さがみはら国際交流ラウンジ)

関聡介(弁護士、成蹊大学法科大学院客員教授、本学特任研究員)

進行: 塩原良和(東京外国語大学准教授/本センター運営委員)

第2部:「町田・相模原における外国人住民施策と広域連携の可能性」

パネリスト:

笠原道弘 (町田市文化・国際交流財団事務局長(町田市派遣職員))

中野 繁(相模原市文化国際課副主幹)

片英治 (神奈川県立新磯高等学校長)

進行: 渡戸一郎(明星大学教授、本学特任研究員)

【後援: (財)町田市文化・国際交流財団、相模原市】

11月7日(水)

18:00-20:30

【会場】町田市民フォーラム4F ボランティアセンター講習室

【定員】50名

【申込】

10/31 までに

m-forum@tufs.ac.jp

共生のまちづくりに向けたプログラムづくり ー「のしろ日本語学習会」の実践からー

事例発表者: 北川裕子(のしろ日本語学習会教室主宰者)

池田理恵(旧名: 岩=イエン) (元のしろ日本語学習会学習者)

藤田美佳 (のしろ日本語学習会、本センターフェロー)

コメンテーター: 高木光太郎 (東京学芸大学国際教育センター准教授)

石井恵理子 (東京女子大学現代文化学部准教授)

コーディネーター:

野山広 (国立国語研究所日本語教育基盤情報センター整備普及グループ長、

本学特任研究員)

総合司会・ディスカッション

伊東祐郎 (本センター副センター長、本学留学生日本語教育センター教授)

【後援: (社)日本語教育学会、国際活動市民中心(CINGA)】

11月17日(土)

13:30-17:30

【会場】東京外国語大学 留学生日本語教育センター さくらホール

【定員】100名

【申込】

11/11 までに

n-forum@tufs.ac.jp

多文化協働実践研究・全国フォーラム (第1回)

予告 12月1日(土)・2日(日)【会場: 東京外国語大学】

12月1日(土)

10:00 全体会 学長挨拶、班別・研究テーマと活動状況報告「多言語・多文化社会における諸課題と協働実践研究のアプローチ」

12:00 昼食(学食)

13:00 分科会 A

(1)「日系ブラジル人の適応・定住化と人材育成への展望ー上田市の調査から見てきたもの」阿部井上班

(2)「外国につながる子どもたちの教育を地域から育む試み」佐藤金班

15:15 分科会 B

(3)「自治体および国際交流協会職員に求められるコーディネーターとしての専門性ー現場の実践から」山西小山班

(4)「地域の特性を生かしたプログラムづくりとは?ー各地の日本語教室の実践からー」野山班

17:45 懇親会(大学会館1F)

* 詳細は、ホームページをご覧ください。

12月2日(日)

10:00 分科会 C

(5)「自治体の外国人政策と区域を越えた行政・市民連携の可能性」渡戸関班

(6)「なぜ教材作成プロジェクトを行うのか?」在日外国人児童むけ教材開発チーム

12:00 昼食(学食)

13:00 ○個人発表○グループ発表

15:00 全体会 パネルディスカッション

「多言語・多文化社会にむけてー協働・実践・研究が生み出すダイナミズム」

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
TEL:042-330-5441

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/ceemmer/>